



ミュージックフェスティバル 12/7

新ひだか町自衛隊協力会と陸上自衛隊静内駐屯地による『第32回ミュージックフェスティバル』が町公民館で開かれ、約350人が来場しました。陸上自衛隊第7音楽隊や静内染退太鼓、静内プレクトラム・アンサンブルなど6団体が出演。音楽隊の演奏では、静内農業高校の生徒が作った「SAKURA並木」も披露されました。また、全道大会で2年連続金賞を受賞した静内高校吹奏楽部と音楽隊との合同演奏もあり、美しい音色に会場から大きな拍手が送られました。



白寿祝状授与 12/2

神垣キミさんが12月1日に99歳の誕生日を迎え、入院中の静仁会静内病院で酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。神垣さんは三石歌笛出身で、20歳のころ静内東別で農業を営む故・米市さんと結婚し、4男・4女の子どもに恵まれました。現在は孫が18人、ひ孫が10人、玄孫が3人います。好き嫌いをせずなんでも食べること、よく働き、よくよしないことが長寿の秘訣とのこと。



第10回みついし牛枝肉共励会褒賞授与式 11/27

『第10回みついし牛枝肉共励会』の褒賞授与式がみついし農協で開かれ、三石本桐の畑端博志さんが出品した「非凡」が最優秀賞に選ばれました。畑端さんは2年連続の最優秀賞受賞を達成しました。共励会は、三石地区を中心に新冠町からえりも町まで広域で「みついし牛」のブランドで出荷している黒毛和牛の肥育技術向上を目的に毎年開催。11月26日に東京食肉市場で行われた審査には、36頭が出品され、評価の高いA5・A4ランクが9割以上と全体でも好成績でした。



白寿祝状授与 12/14

土井トヨさんが白寿を迎え、入所中の特別養護老人ホーム静寿園で酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。土井さんは岩手県久慈市出身で、9歳のころ家族で北海道に移住し、21歳のころ故・仁平さんと結婚しました。東静内で農業を営みながら、2男・3女の子どもに恵まれ、現在は孫が9人、ひ孫が9人います。この日は子や孫がお祝いに駆けつけ、99歳の誕生日を喜びました。



こころの健康セミナー 12/4

日高地方精神保健協会主催の『第19回こころの健康セミナー』が町公民館で開かれ、北海道大学大学院医学研究科児童思春期精神医学講座の齊藤卓弥特任教授が「子どももうつになるの？—子どものうつの理解と対応」と題し、講演しました。齊藤教授は「思春期のうつ病は、自殺行動につながるケースが多い。周囲との関わりが大きく影響する時期なので、大人がしっかりサポートすることが大切」と話し、参加者は熱心に耳を傾けました。



非常食備蓄 11/30

御幸町第2自治会（折野光治会長・77世帯）は、地域防災対策として災害時の非常食を自治会内の倉庫に備蓄しました。同自治会は町の助成を受けて、保存水や乾パン、水だけで食べられる白飯など、3年から5年程度保存できる非常食11種類を世帯分購入。折野会長は「自分たちの命は自分たちで守る心構えが必要」と話し、地域住民が一体となって、万が一の事態に備えています。



秋の森林教室 11/15

身近な山を知り、山を好きになってもらおうと町教育委員会による『秋の森林教室』が、三石地区の国有林で開かれ、町内の小学生や保護者など33人が参加しました。子どもたちは、木の棒と板を使った昔ながらの火おこしや焼きイモの試食、陽当たりを良くして山を健康にするための枝落としを体験しました。さまざまな体験を通し、楽しみながら身近な森林や自然への関心を深めました。



管内学力向上フォーラム 12/8

日高管内の子どもたちの学力アップに向け、日高教育局による『管内学力向上フォーラム』が町公民館で開かれ、関係者64人が参加し、学力の現状や取り組みを話し合いました。



しずない海味の市 12/6

地場産海産物などを特価販売し、消費拡大を目指す『2014しずない海味の市』が町観光情報センターばっぼで開かれ、格安な海産物を求める多くの町民でにぎわいました。



11年ありがとう！古本市 11/29

読書週間にちなみ『11年ありがとう！古本市』が女性センター・みらいで開かれました。仮設図書館としては、最後の開催となる古本市に多くの町民が来場しました。



三石産米「トキノミノル」寄贈 11/27

みついし水稻振興会（小林嘉弘会長）は、三石産の新米「トキノミノル」を多くの人に食べてもらいたいと、町教育委員会や蓬萊荘などに寄贈しました。